

# C.L. information

Vol.63 2017年2月

## 特 集

### ◆ 防虫のための設備と管理

害虫紹介（シミ類）

食中毒情報



株式会社コントロール・ラボ

## 防虫のための設備と管理

食品を始めとした製造工場では、日々、防虫対策に注力されているかと思います。しかし、実際の工場では、害虫が屋外から多数侵入し、問題となるケースが多く見られます。このため、屋外から侵入する害虫をいかに防ぐのが、防虫対策の要と言えるでしょう。今回の C.L.information では、屋外からの害虫の侵入を防止するための設備と管理方法についてご紹介します。

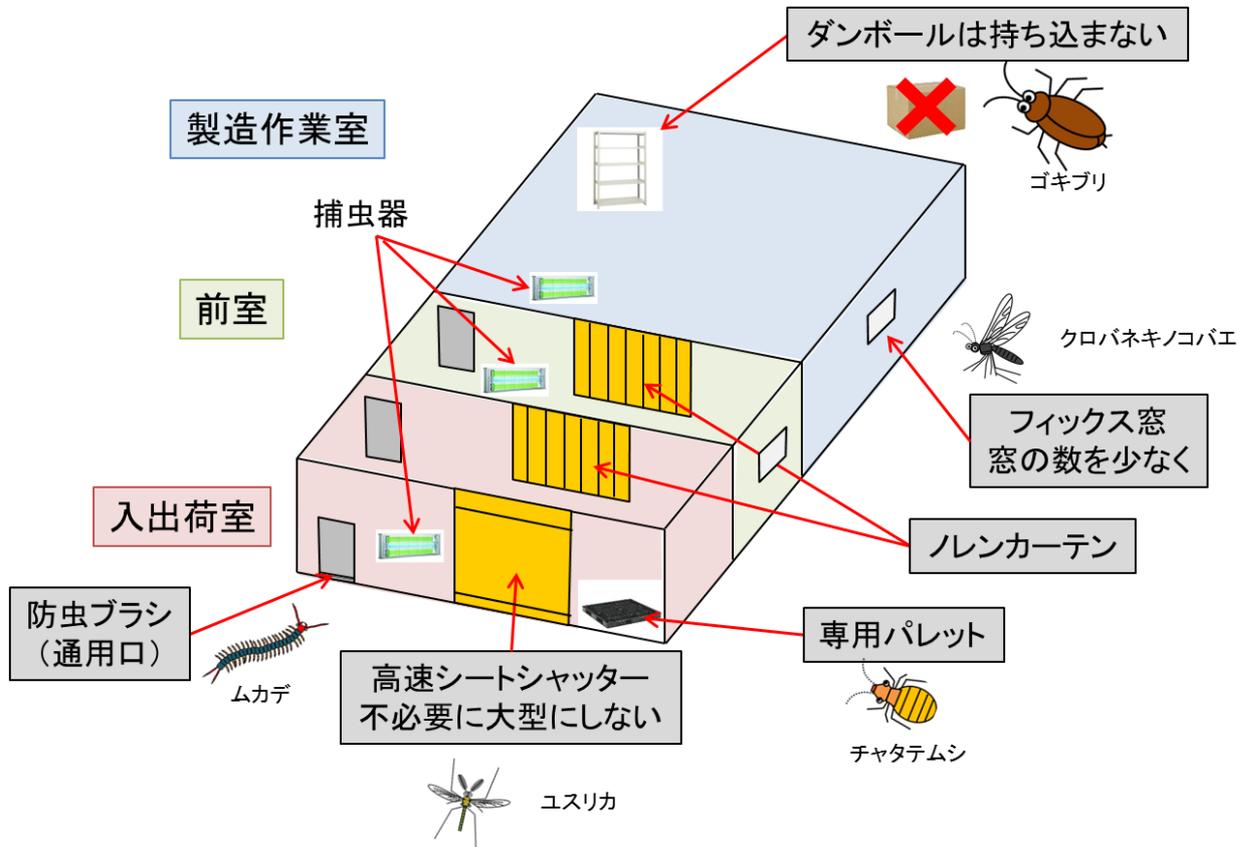


図 防虫設備や管理方法の概要

### 前室の設置

人や荷物の出入りの多い場所では、前室を設置することが有効です。前室を設置し、作業場内に到達するまでのシャッターや扉の枚数が増えるほど、侵入する害虫は減少します。あるデータでは、シートシャッターのある前室を1つ増やす毎に8割の害虫の侵入を抑えることができるという報告もあります。また、前室には外に光が漏れない位置に捕虫器を設置することで、製造作業室へ侵入する害虫をさらに抑えることができます。

### 窓の設計

窓は飛来虫が侵入する箇所1つです。窓の開放はもちろん、防虫網の網目が適切ではない場合にも、潜り抜けて侵入することがあります。防虫網は40メッシュ程度であれば、コバエなどの多くの害虫の侵入を防止できます。また、労働環境上や消防法での問題もありますが、窓が多いと害虫が侵入する箇所が増えるため、防虫面としては、窓はなるべく少ないほうが良いでしょう。また、窓を設置する場合は、開放できないフィックス窓（はめ殺し窓）が適しています。

## 荷物やパレットの管理

荷物には害虫が付着しているケースが多いです。特に、ダンボールは細かな隙間が多く、この隙間にゴキブリ類などが潜伏していることがあります。このため、作業場内にダンボールは持ち込まないことが重要です。

パレットも同様にチャタテムシ類やクモ類などの害虫が付着していることが多いです。害虫を製造エリアに広げないために、エリア毎に専用パレットを用意し、定期的にパレットを清掃しましょう。特に、木製パレットは害虫が非常に付着しやすいため、推奨できません。



## シャッターや扉の管理

シャッターや扉は工場内で最も害虫が侵入しやすい場所です。これらの設備や管理には以下の方法があります。

### シャッターや扉の開放厳禁

入出荷時にシャッターや扉を開放したまま作業をしていると害虫が侵入する原因となります。シャッター等の開放時間をなるべく短くするために、作業が終わったらすぐに閉めることが重要です。また、シャッター等の開口部が大きいほど、侵入する害虫数が多くなります。そのため、シャッターや扉を新規に設置する場合は、不必要に大型にはしないことがポイントです。



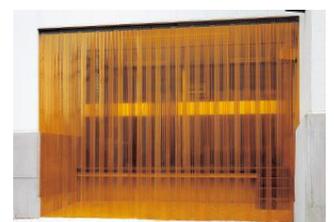
### 防虫ブラシ

シャッターや扉に隙間が出来ていると、閉めた状態でも害虫は侵入します。防虫ブラシをシャッターや扉の隙間に取り付けることで、害虫の侵入を防ぐことができます。シャッターの場合は下部や両側に、扉の場合は下部に設置します。害虫以外にも屋外からの埃の侵入防止にもなります。



### ノレンカーテン

ノレンカーテンをシャッターや扉に設置することで、侵入する害虫を防ぐことができます。出入りが頻繁な箇所への設置が推奨されます。コスト面からも導入しやすい設備です。



### 高速シートシャッター

通常のシャッターから高速シートシャッターに切り替えることで、屋外からの飛来虫の侵入を抑えることができます。最近では特に下部や両側に隙間の無い、気密性の高いタイプが登場しています。また、同じ室内に複数の高速シートシャッターが設置されている場合は、インターロック方式にすることで、より防虫性が高くなります。



## 害虫紹介

### シミ類

木造家屋でよく見られるシミ類は、細長い体に長い尾があり独特な形の昆虫です。見慣れない方も多いと思いますが、実はビルやマンション、食品工場においてもごく普通に生息している種類です。

#### 生態

シミ類は体長 1cm 程の細長い形をしています。翅が無く、飛翔能力はありませんが、動きは非常に俊敏です。主な種類として、セイヨウシミとヤマトシミが挙げられます。デンプン質や糖質を含む小麦などの穀粉や乾燥食品を好んで餌とします。シミ類は「紙魚」や「衣魚」と表記され、文字が示すように書物や衣類にも生息します。一般住宅の他、食品工場、ビル、マンションなどにおいてもごく普通に見られます。屋外では落ち葉、石の下、樹皮下などに生息しています。



図 ヤマトシミ  
*Ctenolepisma villosa*

#### 被害

異物として各種の製品への混入事例があります。特に、ダンボール類の多い倉庫では生息しやすく、また、穀粉を扱う工場では時に大発生することもあります。文化財害虫としても知られており、資料の表面を齧ることや糞による汚損を引き起こします。糊付けした紙類や書籍、古文書の他、掛け軸、絹などの織物、絵画で被害が多く問題となります。

#### 対策

穀粉を取り扱う工場では、残渣や粉だまりなどから発生するため、清掃が最も重要な対策です。もし、発生した場合は、燻蒸剤やエアゾール剤などで駆除できます。また、ダンボール類の長期保管時には隙間に入り込み生息することがあるため、注意が必要です。シミ類は大気中の水分を取り込む性質があるため、除湿などの湿度対策も有効です。相対湿度が 45% 以下では体内から水分が奪われることが判明しています。

## 食中毒情報

今月も先月以上に多くのノロウイルス食中毒が発生していましたが、中でも和歌山県御坊市で患者数が 800 人を超える大規模食中毒事件が発生していました。小中学校、幼稚園の学校給食が原因で、全て 1 つの給食センターで調理されていました。ノロウイルスが検出されている「磯あえ」が原因食と考えられています。調理従事者 25 人中 10 人からノロウイルスが検出されましたが、従事者が調理後に同じ給食を食べていたため、調理前から感染していたのかどうか確認が困難な状況です。原因究明のために「従事者は当該施設で調理された食品は喫食しない」ように厚生労働省でも指導がされていましたが、徹底はされていませんでした。それに加え、冬季は定期的なノロウイルス検査を実施して食中毒を未然に防ぐことが必須になってきています。春まではノロウイルス食中毒の危険性が高い状況が続くため、衛生管理の徹底をお願いします。

### 全国食中毒発生状況 (1/16～2/14 新聞発表分等)

原因物質	事例	感染者数
ノロウイルス	40	1815
寄生虫	6	6
カンピロバクター	4	27
自然毒	2	3
不明・その他	4	74

### 株式会社コントロールラボ

本社 〒651-1211 神戸市北区小倉台7-1-7  
 阪神事業部 〒658-0026 神戸市東灘区魚崎西町2-4-15  
 東京営業所 〒194-0004 東京都町田市鶴間424-1-402  
 福岡営業所 〒816-0921 福岡県大野城市仲畑1-6-15-A棟3  
 フリーダイヤル

☎0120-540-643

URL <http://controllabo.co.jp>

TEL: 078-582-3575 FAX: 078-582-3576  
 TEL: 078-858-6801 FAX: 078-858-6802  
 TEL: 042-799-5270 FAX: 042-850-6456  
 TEL: 092-575-0630 FAX: 092-586-6321

  
 株式会社コントロールラボ

  
 エムテック衛生検査所